



CHAPTER 33

後期 / 初期メディアのインターネットワーキング

後期 / 初期メディアのインターネットワーキング機能は Session Initiation Protocol (SIP) コールに対してサポートされています。初期メディアは、コールが実際に確立される前に 2 つのユーザ エージェントが通信を行う機能です。初期メディアの転送は、コール元が初期コール セットアップ要求でメディアの提案を行い、コールが接続される前にコール先がオファーに応答するときに行われます。SBC は、INVITE で SDP を提供しない送信側 SIP デバイスと、INVITE で SDP を必要とする受信側 SIP デバイスとの間の相互運用性を実現します。この処理は次の場合に行われます。

- エンドポイントのコール元が、INVITE が受け入れられ（後期メディア）、その初期 INVITE に SDP オファーが含まれていないときに、メディアのネゴシエーションを行う必要がある場合。
- 初期 INVITE での SDP オファーを想定しているコール先が 1XX 応答（初期メディア）で応答する場合。

メディアの通常のネゴシエーションでは、コール元が初期 INVITE に SDP オファーを含め、コール先が 200 応答で受け入れます。ただし、次の点に注意してください。

- 後期メディアは、コール先に使用メディアの選択を許可するようなコール エージェントなどのエンドポイントで使用されます。
- 初期メディアは、コールが受け入れられる前にメディア フロー（Call Hold サーバからのコール前通知やインバンド トーンなど）をサポートする必要がある比較的最近のエンドポイントで使用されます。

後期メディアのコール元と初期メディアのコール先のインターワーキングを実現するために、SBC はメディアの SDP オファーを含む invite をコール先に送信します。次に、SBC は、コール元とコール先の間で適切なメッセージを送信します。このメッセージは、それぞれからの応答によって決まります。

SBC は、このインターワーキングを隣接単位でサポートしています。各隣接を設定して、その隣接へのコールまたはその隣接からのコール（あるいはその両方）に対して後期 / 初期メディアのインターワーキングを要求するように指定できます。

初期メディア機能の履歴

リリース	変更内容
ACE SBC Release 3.1.00	Cisco 7600 シリーズ ルータにこの機能が追加されました。

この章の構成

この章で説明する内容は、次のとおりです。

- 「[後期 / 初期メディアのインターネットワーキングのサポートの制約事項](#)」 (P.33-2)

- ・ 「後期/初期メディアのインターネットワーキングの設定」 (P.33-2)
- ・ 「設定例」 (P.33-8)
- ・ 「検証」 (P.33-11)

後期/初期メディアのインターネットワーキングのサポートの制約事項

次に、後期/初期メディアのインターネットワーキングの制約事項を示します。

- ・ この機能は SIP 同士のコールだけに適用され、SIP と H.323 の間のインターワーキング コールには適用されません。
- ・ この機能は IPv4 だけに適用され、IPv6 アドレッシングとは併用できません。
- ・ コール先によって選択されたメディアをコール元が改善した場合、その内容が PRACK でコール先に戻されます。ただし、コール先がそのメディアを再び改善しようとしても、イベントがログに記録されるだけで、内容がコール元に渡されることはありません。
- ・ SBC は SDP を生成するため、この機能を使用するコールではメディア バイパスを使用できません。
- ・ SBC が生成するのは、1 つの音声ストリームを提供する SDP だけです。コール元とコール先がビデオ、Fax、または他のメディア ストリームのネゴシエーションを行う必要がある場合、コールの確立後、この再ネゴシエーションが可能です。
- ・ コール先が信頼できる 1XX INVITE を送信する前か、これを送信せずに、初期メディアを送信しようとする、SBC はそのメディアをドロップします。そのため、メディアはコール元に到達しません。
- ・ コール先は、信頼できない 1XX INVITE 応答を送信してはなりません。信頼できない 1XX INVITE 応答は、コール元で無関係の SDP オファーとして解釈されるためです。後期/初期インターネットワーキング コールの場合、SBC は 100rel を必須として設定します。これにより、コール元が 100rel をサポートしている場合にだけ、コール先による信頼できない応答の送信が禁止されます。
- ・ 後期/初期メディアのインターネットワーキングを Gq IMS インターフェイスで使用してはなりません。このインターフェイスは、SBC に対して、SDP オファーの作成に必要なローカル メディア アドレスを提供しません（また、不正なメディア パスのコールが生じる可能性があります）。

後期/初期メディアのインターネットワーキングの設定

手順概要

1. **configure**
2. **sbcservice-name**
3. **sbc**
4. **adjacencysip adjacency-name**
5. **nat force-off**
6. **preferred-transport udp**
7. **redirect-mode pass-through**
8. **authentication nonce timeout value**

9. signaling-address ipv4
10. signaling-port
11. remote-address ipv4
12. signaling-peer
13. signaling-peer-port
14. dbe-location-id
15. account
16. reg-min-expiry
17. media-late-to-early-iw {incoming | outgoing}
18. attach
19. exit
20. exit
21. sip inherit profile
22. cac-policy-set
23. first-cac-table
24. first-cac-scope
25. averaging-period
26. cac-table
27. match-type
28. entry
29. match-value
30. action cac-complete
31. max-bandwidth
32. max-updates
33. max-channels
34. early-media-type
35. early-media-timeout
36. codec-restrict-to-list
37. caller-codec-list
38. callee-privacy
39. caller-privacy
40. exit
41. exit
42. complete
43. exit
44. active-cac-policy-set

詳細手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure 例： host1/Admin# configure	グローバル コンフィギュレーション モードをイネーブルにします。
ステップ 2	sbc service-name 例： host1/Admin(config)# sbc mysbc	メソッド プロファイルを設定するサブモードを開始します。サービス名を定義するには、 <i>service-name</i> 引数を使用します。
ステップ 3	sbe 例： host1/Admin(config-sbc)# sbe	SBC サービス内で SBE エンティティ モードを開始します。
ステップ 4	adjacency sip adjacency-name 例： host1/Admin(config-sbc-sbe)# adjacency sip sipGW	隣接を設定します。
ステップ 5	nat force-off 例： host1/Admin(config-sbc-sbe-adj-sip)# nat force-off	すべてのエンドポイントが NAT デバイスの背後にあると見なすように SIP 隣接を設定します。
ステップ 6	preferred-transport udp 例： host1/Admin(config-sbc-sbe-adj-sip)# preferred-transport udp	隣接での SIP シグナリング用に優先トランスポートプロトコルを設定します。
ステップ 7	redirect-mode pass-through 例： host1/Admin(config-sbc-sbe-adj-sip)# redirect-mode recurse	SIP 隣接からの invite に対する 3xx 応答の受信時における SBC の動作を設定します。
ステップ 8	authentication nonce timeout value 例： host1/Admin(config-sbc-sbe-adj-sip)# authentication nonce timeout 10	SIP 隣接の認証ナンス タイムアウトを設定します。
ステップ 9	signaling-address ipv4 例： host1/Admin(config-sbc-sbe-adj-sip)# signaling-address ipv4 10.10.10.10	H.323 隣接または SIP 隣接のローカル IPv4 シグナリングアドレスを定義します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 10	<pre>signaling-port</pre> <p>例:</p> <pre>host1/Admin(config-sbc-sbe-adj-sip)# signaling-port 5000</pre>	H.323 隣接または SIP 隣接のシグナリング アドレスのローカル ポートを定義します。
ステップ 11	<pre>remote-address ipv4</pre> <p>例:</p> <pre>host1/Admin((config-sbc-sbe-adj-sip)# remote-address ipv4 36.36.36.20 255.255.255.0</pre>	H.323 隣接または SIP 隣接を設定して、その隣接を通じて接続できるリモートシグナリング ピアのセットを、所定の IP アドレス プレフィックスを持つピアに制限します。
ステップ 12	<pre>signaling-peer</pre> <p>例:</p> <pre>host1/Admin(config-sbc-sbe-adj-sip)# signaling-peer gk andrew</pre>	所定のリモートシグナリング ピアを使用するように H.323 隣接または SIP 隣接を設定します。
ステップ 13	<pre>signaling-peer-port</pre> <p>例:</p> <pre>host1/Admin(config-sbc-sbe-adj-sip)# signaling-peer-port 123</pre>	所定のリモートシグナリング ピアのポートを使用するように H.323 隣接または SIP 隣接を設定します。
ステップ 14	<pre>dbe-location-id</pre> <p>例:</p> <pre>host1/Admin(config-sbc-sbe-adj-sip)# dbe-location-id 1</pre>	メディアをルーティングするときに所定のメディア ゲートウェイ DBE ロケーションを使用するように隣接を設定します。
ステップ 15	<pre>account</pre> <p>例:</p> <pre>host1/Admin(config-sbc-sbe-adj-sip)# account isp42</pre>	SBE で SIP 隣接アカウントまたは H.323 隣接アカウントを定義します。
ステップ 16	<pre>reg-min-expiry</pre> <p>例:</p> <pre>host1/Admin(config-sbc-sbe-adj-sip)# reg-min-expiry 300</pre>	SIP 隣接に最小登録期限を秒単位で設定します。
ステップ 17	<pre>media-late-to-early-iw {incoming outgoing}</pre> <p>例:</p> <pre>host1/Admin(config-sbe-adj-sip)# media-late-to-early-iw incoming</pre>	後期/初期メディアのインターネットワーキング (iw) を設定します。
ステップ 18	<pre>attach</pre> <p>例:</p> <pre>host1/Admin(config-sbc-sbe-adj-sip)# attach</pre>	SBE 上のアカウントに隣接を接続します。
ステップ 19	<pre>exit</pre> <p>例:</p> <pre>host1/Admin(config-sbc-sbe-adj-sip)# exit</pre>	現在のコンフィギュレーション モードを終了します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 20	<code>exit</code> 例： <code>host1/Admin(config-sbc-sbe-adj)# exit</code>	現在のコンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 21	<code>sip inherit profile</code> 例： <code>host1/Admin(config-sbc-sbe)# sip inherit profile preset-p-cscf-access</code>	グローバル継承プロファイルを設定します。
ステップ 22	<code>cac-policy-set</code> 例： <code>host1/Admin(config-sbc-sbe)# cac-policy-set 1</code>	SBE エンティティ内で CAC ポリシー セット コンフィギュレーション サブモードを開始します。
ステップ 23	<code>first-cac-table</code> 例： <code>host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy)# first-cac-table RootCacTable</code>	ポリシーのアドミッション制御段階の実行時に、最初に処理するポリシー テーブルの名前を設定します。
ステップ 24	<code>first-cac-scope</code> 例： <code>host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy)# first-cac-scope src-adjacency</code>	ポリシーのアドミッション制御段階の実行時に、制限の定義を開始するスコープを設定します。
ステップ 25	<code>averaging-period</code> 例： <code>host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy)# averaging-period 5</code>	CAC でレート計算に使用される平均期間のサイズを設定します。
ステップ 26	<code>cac-table</code> 例： <code>host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy)# cac-table MyCacTable</code>	アドミッション制御テーブルを作成または設定します。
ステップ 27	<code>match-type</code> 例： <code>host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable)# match-type call-priority</code>	アドミッション制御テーブルの照合タイプを設定します。
ステップ 28	<code>entry</code> 例： <code>host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable)# entry 1</code>	テーブルのエントリを作成または変更します。
ステップ 29	<code>match-value</code> 例： <code>host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable-entry)# match-value acme</code>	アドミッション制御テーブル内のエントリの <code>match-value</code> を設定します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 30	action cac-complete 例： host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable-entry)# action cac-complete	イベントが一致する場合に、この CAC ポリシーが完了するように指定します。
ステップ 31	max-bandwidth 例： host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable-entry)# max-bandwidth 6000000	アドミッション制御テーブル内のエントリの最大帯域幅を設定します。
ステップ 32	max-updates 例： host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable-entry)# max-updates 500	アドミッション制御テーブル内のエントリの最大コールアップデートを設定します。
ステップ 33	max-channels 例： host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable-entry)# max-channels 50	アドミッション制御テーブル内のエントリの最大チャンネル数を設定します。
ステップ 34	early-media-type { backward-half-duplex forward-half-duplex full-duplex } 例： host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable-entry)# early-media-type full-duplex	コール アドミッション制御テーブルのエントリに対して許可する初期メディアの方向を設定します。
ステップ 35	early-media-timeout 例： host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable-entry)# early-media-timeout 90	コールが確立される前に初期メディアの許可に費やせる時間を設定します。
ステップ 36	codec-restrict-to-list 例： host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable-entry)# codec-restrict-to-list my_codecs	コールのシグナリングに使用されるコーデックを名前付きリスト内の所定のコーデック セットに制限するように CAC を設定します。
ステップ 37	caller-codec-list 例： host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable-entry)# caller-codec-list test	コールのコール元ログで使用が許可されているコーデックをリストします。
ステップ 38	callee-privacy 例： host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable-entry)# callee-privacy always	コール先からコール元に送信されるメッセージに対して実行する、プライバシー処理のレベルを設定します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 39	caller-privacy 例： host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable-entry)# caller-privacy always	コール元からコール先に送信されるメッセージで実行するプライバシー処理のレベルを設定します。
ステップ 40	exit 例： host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable-entry)# exit	現在のコンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 41	exit 例： host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy)# exit	現在のコンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 42	complete 例： host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy)# complete	完全なセットをコミットしたあとに CAC ポリシー セットまたはコール ポリシー セットを完了します。
ステップ 43	exit 例： host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy)# exit	現在のコンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 44	active-cac-policy-set 例： host1/Admin (config-sbc-sbe)# active-cac-policy-set 1	SBE エンティティ内のアクティブな CAC ポリシー セットを設定します。

設定例

次に、後期/初期メディアのインターネットワーキングの設定例を示します。

```

host1/Admin# configure
host1/Admin(config)# sbc mySbc
host1/Admin(config-sbc)# sbe
host1/Admin(config-sbc-sbe)# adjacency sip SIPP-1
host1/Admin(config-sbe-adj-sip)# nat force-off
host1/Admin(config-sbe-adj-sip)# preferred-transport udp
host1/Admin(config-sbe-adj-sip)# redirect-mode pass-through
host1/Admin(config-sbe-adj-sip)# authentication nonce timeout 300
host1/Admin(config-sbe-adj-sip)# signaling-address ipv4 201.201.201.20
host1/Admin(config-sbe-adj-sip)# signaling-port 5060
host1/Admin(config-sbe-adj-sip)# remote-address ipv4 202.202.202.11 255.255.255.255
host1/Admin(config-sbe-adj-sip)# signaling-peer 202.202.202.11
host1/Admin(config-sbe-adj-sip)# signaling-peer-port 5060
host1/Admin(config-sbe-adj-sip)# db-location-id 4294967295
host1/Admin(config-sbe-adj-sip)# account SIPP-1
host1/Admin(config-sbe-adj-sip)# reg-min-expiry 3000
host1/Admin(config-sbe-adj-sip)# media-late-to-early-iw incoming
host1/Admin(config-sbe-adj-sip)# attach
host1/Admin(config-sbe-adj-sip)# exit

```



```

host1/Admin(config-sbe-adj) # exit
host1/Admin(config-sbc-sbe) # adjacency sip SIPP-2
host1/Admin(config-sbe-adj-sip) # nat force-off
host1/Admin(config-sbe-adj-sip) # preferred-transport udp
host1/Admin(config-sbe-adj-sip) # redirect-mode pass-through
host1/Admin(config-sbe-adj-sip) # authentication nonce timeout 300
host1/Admin(config-sbe-adj-sip) # signaling-address ipv4 201.201.201.20
host1/Admin(config-sbe-adj-sip) # signaling-port 5060
host1/Admin(config-sbe-adj-sip) # remote-address ipv4 201.201.201.11 255.255.255.255
host1/Admin(config-sbe-adj-sip) # signaling-peer 201.201.201.11
host1/Admin(config-sbe-adj-sip) # signaling-peer-port 5060
host1/Admin(config-sbe-adj-sip) # dbe-location-id 4294967295
host1/Admin(config-sbe-adj-sip) # account SIPP-2
host1/Admin(config-sbe-adj-sip) # reg-min-expiry 3000
host1/Admin(config-sbe-adj-sip) # media-late-to-early-iw outgoing
host1/Admin(config-sbe-adj-sip) # attach
host1/Admin(config-sbe-adj-sip) # exit
host1/Admin(config-sbe-adj) # exit
host1/Admin(config-sbc-sbe) # sip inherit profile preset-core
host1/Admin(config-sbc-sbe) # cac-policy-set 1
host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy) # first-cac-table table
host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy) # first-cac-scope call
host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy) # averaging-period 60
host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy) # cac-table table
host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable) # match-type adjacency
host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable) # entry 1
host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable-entry) # match-value SIPP-1
host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable-entry) # action cac-complete
host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable-entry) # max-bandwidth 64009 Gbps
host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable-entry) # max-updates 4294967295
host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable-entry) # max-channels 4294967295
host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable-entry) # early-media-type full-duplex
host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable-entry) # early-media-timeout 0
host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable-entry) # codec-restrict-to-list
allowed_caller
host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable-entry) # caller-codec-list allowed_caller
host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable-entry) # callee-privacy never
host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable-entry) # caller-privacy never
host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable) # entry 2
host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable-entry) # match-value SIPP-2
host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable-entry) # action cac-complete
host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable-entry) # max-bandwidth 64009 Gbps
host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable-entry) # max-updates 4294967295
host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable-entry) # max-channels 4294967295
host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable-entry) # early-media-type full-duplex
host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable-entry) # early-media-timeout 0
host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable-entry) # codec-restrict-to-list allowed
host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable-entry) # callee-codec-list allowed
host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable-entry) # callee-privacy never
host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable-entry) # caller-privacy never
host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable-entry) # exit
host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy-cactable) # exit
host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy) # complete
host1/Admin(config-sbc-sbe-cacpolicy) # exit
host1/Admin(config-sbc-sbe) # active-cac-policy-set 1
host1/Admin/Admin(config-sbc-sbe) # retry-limit 3
host1/Admin/Admin(config-sbc-sbe) # call-policy-set 1
host1/Admin(config-sbc-sbe-rtgpolicy) # first-call-routing-table start-table
host1/Admin(config-sbc-sbe-rtgpolicy) # rtg-src-adjacency-table start-table
host1/Admin(config-sbc-sbe-rtgpolicy-entry) # entry 1
host1/Admin(config-sbc-sbe-rtgpolicy-entry) # action complete
host1/Admin(config-sbc-sbe-rtgpolicy-entry) # dst-adjacency SIPP-1
host1/Admin(config-sbc-sbe-rtgpolicy-entry) # match-adjacency SIPP-2
host1/Admin(config-sbc-sbe-rtgpolicy-entry) # exit

```

```

host1/Admin(config-sbc-sbe-rtgpolicy)# entry 2
host1/Admin(config-sbc-sbe-rtgpolicy-entry)# action complete
host1/Admin(config-sbc-sbe-rtgpolicy-entry)# dst-adjacency SIPP-2
host1/Admin(config-sbc-sbe-rtgpolicy-entry)# match-adjacency SIPP-1
host1/Admin(config-sbc-sbe-rtgpolicy-entry)# exit
host1/Admin(config-sbc-sbe-rtgpolicy)# complete
host1/Admin(config-sbc-sbe-rtgpolicy)# exit
host1/Admin(config-sbc-sbe)# active-call-policy-set 1
host1/Admin(config-sbc-sbe)# sip max-connections 2
host1/Admin(config-sbc-sbe)# sip timer
host1/Admin(config-sbc-sbe-tmr)# tcp-idle-timeout 120000
host1/Admin(config-sbc-sbe-tmr)# tls-idle-timeout 360000
host1/Admin(config-sbc-sbe-tmr)# udp-response-linger-period 32000
host1/Admin(config-sbc-sbe-tmr)# udp-first-retransmit-interval 500
host1/Admin(config-sbc-sbe-tmr)# udp-max-retransmit-interval 4000
host1/Admin(config-sbc-sbe-tmr)# invite-timeout 180
host1/Admin(config-sbc-sbe-tmr)# exit
host1/Admin(config-sbc-sbe)# codec-list allowed
host1/Admin(config-sbc-sbe-codec-list)# description allowed codecs
host1/Admin(config-sbc-sbe-codec-list)# codec PCMA
host1/Admin(config-sbc-sbe-codec-list)# codec PCMU
host1/Admin(config-sbc-sbe-codec-list)# exit
host1/Admin(config-sbc-sbe)# codec-list allowed_caller
host1/Admin(config-sbc-sbe-codec-list)# description caller
host1/Admin(config-sbc-sbe-codec-list)# codec PCMA
host1/Admin(config-sbc-sbe-codec-list)# exit
host1/Admin(config-sbc-sbe)# h323
host1/Admin(config-sbc-sbe-h323)# ras timeout arq 5000
host1/Admin(config-sbc-sbe-h323)# ras retry arq 2
host1/Admin(config-sbc-sbe-h323)# ras timeout brq 3000
host1/Admin(config-sbc-sbe-h323)# ras retry brq 2
host1/Admin(config-sbc-sbe-h323)# ras timeout drq 3000
host1/Admin(config-sbc-sbe-h323)# ras retry drq 2
host1/Admin(config-sbc-sbe-h323)# ras timeout grq 5000
host1/Admin(config-sbc-sbe-h323)# ras retry grq 2
host1/Admin(config-sbc-sbe-h323)# ras timeout rrq 3000
host1/Admin(config-sbc-sbe-h323)# ras retry rrq 2
host1/Admin(config-sbc-sbe-h323)# ras rrq ttl 60
host1/Admin(config-sbc-sbe-h323)# ras timeout urq 3000
host1/Admin(config-sbc-sbe-h323)# ras retry urq 1
host1/Admin(config-sbc-sbe-h323)# h225 timeout proceeding 10000
host1/Admin(config-sbc-sbe-h323)# h225 timeout establishment 180000
host1/Admin(config-sbc-sbe-h323)# h225 timeout setup 4000
host1/Admin(config-sbc-sbe-h323)# exit
host1/Admin(config-sbc-sbe)# h323
host1/Admin(config-sbc-sbe-h323)# adjacency timeout 30000
host1/Admin(config-sbc-sbe-h323)# exit
host1/Admin(config-sbc-sbe)# redirect-limit 2
host1/Admin(config-sbc-sbe)# deact-mode normal
host1/Admin(config-sbc-sbe)# activate
host1/Admin(config-sbc-sbe)# exit
host1/Admin(config-sbc)# dbe
host1/Admin(config-sbc-dbe)# media-address ipv4 201.201.201.20
host1/Admin(config-sbc-dbe)# location-id 0
host1/Admin(config-sbc-dbe)# media-timeout 9000
host1/Admin(config-sbc-dbe)# deact-mode normal
host1/Admin(config-sbc-dbe)# activate

```

検証

動作を検証するには、次のコマンドを使用します。

コマンド	目的
host1/Admin# show services sbc <i>sbc-name</i> sbe cac-policy-set <i>id</i> table <i>name</i> entries	所定のポリシー セットに関連付けられた CAC ポリシー テーブルの要約をリストします。
host1/Admin# show services sbc <i>sbc-name</i> sbe adjacencies	SBE 上に設定された隣接をリストします。

次に、隣接を表示する例を示します。

```
host1/Admin# show services sbc test sbe adjacencies 7600-1 de
SBC Service "test"
Adjacency 7600-1 (SIP)
  Status:                Attached
  Signaling address:    22.22.22.2:5060, VRF Admin
  Signaling-peer:       33.33.33.3:5060
  Remote address:       33.33.33.3 255.255.255.255
  Force next hop:       No
  Account:
  Group:                 None
  In header profile:    Default
  Out header profile:   Default
  In method profile:    Default
  Out method profile:   Default
  In UA option prof:    Default
  Out UA option prof:   Default
  In proxy opt prof:    Default
  Out proxy opt prof:   Default
  Priority set name:     None
  Local-id:             None
  Rewrite REGISTER:     Off
  Target address:       None
  NAT Status:           Auto Detect
  Reg-min-expiry:       3000 seconds
  Fast-register:        Enabled
  Fast-register-int:    30 seconds
  Authenticated mode:   None
  Authenticated realm:  None
  Auth. nonce life time: 300 seconds
  IMS visited NetID:    None
  Inherit profile:      Default
  Force next hop:       No
  Home network Id:     None
  UnEncrypt key data:   None
  SIPI passthrough:    No
  Rewrite from domain:  Yes
  Rewrite to header:    Yes
  Media passthrough:    No
  Hunting Triggers:    Global Triggers
  Redirect mode:        Pass-through
  Security:             Untrusted
  Outbound-flood-rate:  None
  Ping-enabled:         No
  Signaling Peer Status: Not Tested
  media-late-to-early-iw: incoming
```

```
host1/Admin# show services sbc test sbe adjacencies 7600-2 de
SBC Service "test"
Adjacency 7600-2 (SIP)
```

```

Status: Attached
Signaling address: 22.22.22.2:5061, VRF Admin
Signaling-peer: 44.44.44.4:5061
Remote address: 44.44.44.4 255.255.255.255
Force next hop: No
Account:
Group: None
In header profile: Default
Out header profile: Default
In method profile: Default
Out method profile: Default
In UA option prof: Default
Out UA option prof: Default
In proxy opt prof: Default
Out proxy opt prof: Default
Priority set name: None
Local-id: None
Rewrite REGISTER: Off
Target address: None
NAT Status: Auto Detect
Reg-min-expiry: 3000 seconds
Fast-register: Enabled
Fast-register-int: 30 seconds
Authenticated mode: None
Authenticated realm: None
Auth. nonce life time: 300 seconds
IMS visited NetID: None
Inherit profile: Default
Force next hop: No
Home network Id: None
UnEncrypt key data: None
SIPI passthrough: No
Rewrite from domain: Yes
Rewrite to header: Yes
Media passthrough: No
Hunting Triggers: Global Triggers
Redirect mode: Pass-through
Security: Untrusted
Outbound-flood-rate: None
Ping-enabled: No
Signaling Peer Status: Not Tested
media-late-to-early-iw: outgoing

```

次に、所定のポリシー セットに関連付けられた CAC ポリシー テーブルの要約をリストする例を示します。

```

host1/Admin# show services sbc test sbe cac-policy-set 1 table table entry 1
SBC Service "test"
Policy set 1 table table entry 1
Match value SIPP-1
Action CAC policy complete
Max updates Unlimited
Max bandwidth Unlimited
Max channels Unlimited
Transcoder Allowed
Caller privacy setting Never hide
Callee privacy setting Never hide
Early media Allowed
Early media direction Both
Early media timeout 0
Caller voice QoS profile default
Caller video QoS profile default
Caller sig QoS profile default
Callee voice QoS profile default

```

```
Callee video QoS profile default
Callee sig QoS profile default
Restrict codecs to list allowed_caller
Restrict caller codecs to list allowed_caller
Restrict callee codecs to list default
Media bypass Allowed
Number of calls rejected by this entry 0

host1/Admin# show services sbc test sbe cac-policy-set 1 table table entry 2
SBC Service "test"
Policy set 1 table table entry 2
Match value SIP-2
Action CAC policy complete
Max updates Unlimited
Max bandwidth Unlimited
Max channels Unlimited
Transcoder Allowed
Caller privacy setting Never hide
Callee privacy setting Never hide
Early media Allowed
Early media direction Both
Early media timeout 0
Caller voice QoS profile default
Caller video QoS profile default
Caller sig QoS profile default
Callee voice QoS profile default
Callee video QoS profile default
Callee sig QoS profile default
Restrict codecs to list allowed
Restrict caller codecs to list default
Restrict callee codecs to list allowed
Media bypass Allowed
Number of calls rejected by this entry 0
host1/Admin#
```

